

[資料1] 2014年度事業報告

1. 会員状況 2015年5月15日現在 ()内は2014年5月29日時点

総会員数 190名(204名)

内訳

一般会員 170名 (178名)

8名減：入会 3、退会 11

学生会員名 15名 (21名)

6名減：入会 3、退会 9

賛助会員 0団体

団体会員 5団体(前回総会開催時と変わらず)

2. 総会・シンポジウムの開催

総会

・日時：2014年5月31日(土) 10:40～12:10

・会場：東京大学柏キャンパス FSホール

シンポジウムー ランドスケープからみたサウンドスケープとその未来ー

・日時：2013年5月31日(土) 13:00～17:00

・会場：東京大学柏キャンパス FSホール

・プログラム

12:20 受付開始

13:00-13:05 開会挨拶 西江会長

13:05-13:10 シンポジウム趣旨説明

13:10-14:00 基調講演 進士五十八氏

ランドスケープからのまなざしーサウンドスケープの今後に向けてー

14:20-16:00 パネルディスカッション

パネラー：進士五十八、鳥越けい子、土田義郎、曾和治好

司会 斎藤馨

16:10-16:50 総合討論 フロアを交えての総合討論

16:50-17:00 閉会挨拶

17:15-18:30 情報交換会 FSホール前ラウンジにて

3. 研究発表会の開催

春季研究発表会

- ・日時：2014年6月1日（日）9:25～13:00
- ・会場：東京大学農学部2号館化1教室
- ・発表件数：8件
- ・参加者：協会員21名、一般12名

秋季研究発表会

- ・日時：2014年12月6日（土）13:00～17:00
- ・会場：金沢工業大学イノベーションホール
- ・発表件数：6件
- ・参加者：協会員、一般、計20数名

4. 例会の開催

“大覚寺・名古屋の滝と嵐山サウンドウォーク”

- ・日時：2014年10月29日（水）13:00 - 15:30
- ・会場大覚寺・大沢の池・名古屋の滝
- ・企画：庭園のサウンドスケープWG
- ・主催：日本サウンドスケープ協会
- ・参加者：協会員12名、一般4名

5. 協会誌の発行

- 『サウンドスケープ』第15巻1号（協会HPからのダウンロード版）の配布
- 『サウンドスケープ』第15巻2号（協会HPからのダウンロード版）の配布

6. ワーキンググループ活動助成

- ・庭園のサウンドスケープWG
- ・まち・音・ひと・ねっとWG

7. 震災プロジェクト

- ・東北地方定点観測

8. 20周年プロジェクト

- ・HP 掲載用コンテンツの制作(制作中)

9. インターネットを活用した広報・情報交流

- ・新規制作した協会 HP の運用
- ・新規サーバ上での各種メーリングリスト運営

10. 記録整備

- ・協会活動アーカイブの整備
シンポジウム・研究発表会の録画記録、
ならびに、シンポジウム内容の文字起こしの、ルーチン化推進。

11. その他

音風景ワークショップ in 水沢「茶歌と茶畑の音風景」

- ・日時：2014年5月18日（日）13:00～16:00
- ・会場：四日市市茶業振興センター
- ・主催：まち・音・ひと・ねっとワーキンググループ

[資料2] 2014年度決算案

日本サウンドスケープ協会
2014年度決算案

収入の部 (単位：円)

科目	予算額	内訳	決算額	予算-決算	備考
会費収入	1,165,000		1,049,000	116,000	
一般会員		1,002,000	936,000	66,000	延べ156名分
学生会員		60,000	15,000	45,000	5名分
賛助会員		-	-	0	
団体会員		35,000	30,000	5,000	5団体
JASE委員会会費		44,000	38,000	6,000	19名分
会費前年度前受け金		24,000	30,000	-6,000	
事業収入	30,000		31,000	-1,000	
コンテンツ事業		-	-	0	
例会		-	-	0	
総会・シンポジウム		-	-	0	
学術事業		30,000	31,000	-1,000	協会誌バックナンバー売上
ワーキンググループ		-	-	0	
企画運営		-	-	0	
雑収入	640		652	-12	
今年度収入合計	1,195,640		1,080,652	114,988	
前年度繰越金	1,024,263		1,024,263		
収入合計	2,219,903		2,104,915		

支出の部 (単位：円)

科目	予算額	内訳	決算額	予算-決算	備考
事業費	821,000		605,100		
コンテンツ事業		80,000	64,800	15,200	協会HPサーバ管理費
		50,000	10,234	39,766	協会誌編集・制作費
		80,000	17,800	62,200	文字起こし謝礼
学術事業		65,000	37,830	27,170	研究発表会開催経費、運営委員会会議費
		5,000	3,372	1,628	協会誌バックナンバー送料
総会及びシンポジウム		70,000	85,946	-15,946	総会・シンポジウム開催経費(出欠確認等事前の準備経費を含む)
例会		100,000	30,000	70,000	庭園WGIによる例会開催費
JASE委員会活動		31,000	65,885	-34,885	WFAEへの会費支払い(2年分、送金手数料込み)
ワーキンググループ		120,000	61,780	58,220	庭園WG、「まち・音・ひと・ねと」WG
震災プロジェクト		80,000	37,807	42,193	定点観測調査費
20周年記念事業		10,000	83,290	-73,290	パネル輸送費、協会HP向けコンテンツ制作費
名簿制作費		130,000	106,356	23,644	印刷費、送料等
管理費	420,000		139,989		
事務局管理費		100,000	100,000	0	
財務管理外注費		100,000	-		
人件費		20,000	3,300	16,700	名簿発送作業謝礼
会議費		20,000	1,144	18,856	会議資料制作費
通信運送費		80,000	2,838	77,162	事務書類送料等
消耗品費		40,000	26,969	13,031	プリンタ用トナー代、プリンタ用紙等
印刷費		50,000	2,102	47,898	振込用紙印刷費
雑費		10,000	3,636	6,364	振込手数料
事業費・管理費合計	1,241,000		745,089	495,911	
予備費	978,903		1,359,826		
今年度支出合計	2,219,903		2,104,915		
JASE会費前受金(2015年度以降)					
会費前受金(2015年度以降)	12,000		36,000		
次年度繰越金	966,903		1,323,826		

上記の決算書類について監査を行

監事署名

入江和瑚
沖山文敏



2014年度日本サウンドスケープ協会

監査意見書

2015年5月15日

日本サウンドスケープ協会
理事会 御中


私たち日本サウンドスケープ協会監事は、理事長ならびに事務局長との面談、ならびに事務局長より提出された決算書等の関連資料をもとに、協会の2014年度の活動についてその財産状況を中心に監査をいたしました。

監査の結果、協会の運営は概ね適切であり、その決算書は協会の収支の状況を正しく示していることを認めます。

前年度の監査において指摘した、監事と常務理事会活動とのコミュニケーションの不全に関しては、監事が年間を通じて常務理事会に参加する機会が提供される等の適切な改善がみられました。昨年度の監査においてその必要を指摘した財務諸表については、その作成準備のための検討が為されたことの報告を受けました。ただし、今後は以下の点について改善・努力されることを期待します。

先ず、決算書作成の専門家への依頼に関しては、本協会にとってどのような決算書が最適であるかの検討から始めたという報告を受けましたが、引き続き検討していただきたい。また、年度当初に計画した事業の一部が適切に執行されていないという問題を、年度途中の常務理事会を通じて指摘した結果、協会の組織改編を通じて対処しつつあることを確認したが、一層の改善の取り組みを継続すべきであることを進言させていただきます。

以上

監事 入江 和朗 

監事 沖山 文敏 

○2014年6月-「協会新体制」（3つの運営委員会と2つの特定委員会による）の確立と始動に向けての活動：各運営委員会メンバーの人選、委員会の活動内容等を含めた今後の進め方についての検討も含む。

○2015年1月-「事務局長の交代」にも関連した協会運営の見直し

理事長より、来年度からの次期事務局長として、吉仲淳会員（青山学院大学教育人間科学部准教授）を任命したいとの提案があり、承認された。続けて、理事長と事務局長が担わなければならない諸々の調整業務が大きくなっているここ数年の状況を踏まえ、事務局長業務等の補佐を、鷲野会員にお願いしたい(本人了承済み)との提案、ならびに事務局長の交代に伴い、来年度より、非会員の方（吉田直子氏）に「事務局員」としての業務を有償で依頼したいとの提案がなされ、承認された。（2015.3.9実施、第3回拡大常務理事会議事録より）

○2015年3月- 現状の「新体制」の課題の整理と改訂に向けての検討と組織改革案のとりまとめ/「活動推進委員会」設置の構想と規約の改定案づくり

前回の改革の補足をおこなうため、新たに協会活動を包括的視点から推進する機関として、また常務理事会の具体的な活動執行機関としての「活動推進委員会」を設置することを提案したい。その活動推進委員会の具体的な役割としては、1) 協会活動全体にかかわる企画・運営、2) 各委員会の連携・推進にかかわる活動、3) その他協会全体として取り組むべき実務の3点があげられる。また、以上3点の遂行のため活動推進委員会は事務局を所管する。

また、これまで明文化されてこなかった「ワーキンググループ」や「プロジェクト」についても協会全体の活動の中に「研究会」として明確に位置付けることを提案する。以上の組織改革を実現するため、規約改正案ならびに細則改正案を提案する。

（2015.4.23実施、第4回拡大常務理事会議事録より）

○2015年5月- 最終調整作業

「研究会」の位置づけを活動推進委員会と直結したカテゴリとすること、また総会・理事会・常務理事会の関係図の一部変更をおこなうことを条件に提案内容が了承された。また、各委員会の機能や業務内容についても協議をした結果、これまで企画運営委員会が担当していた一部の業務を「活動推進委員会」と事務局に移管するという提案が了承された。（2015.4.23実施、第4回拡大常務理事会議事録より）→「図1」（次頁）参照

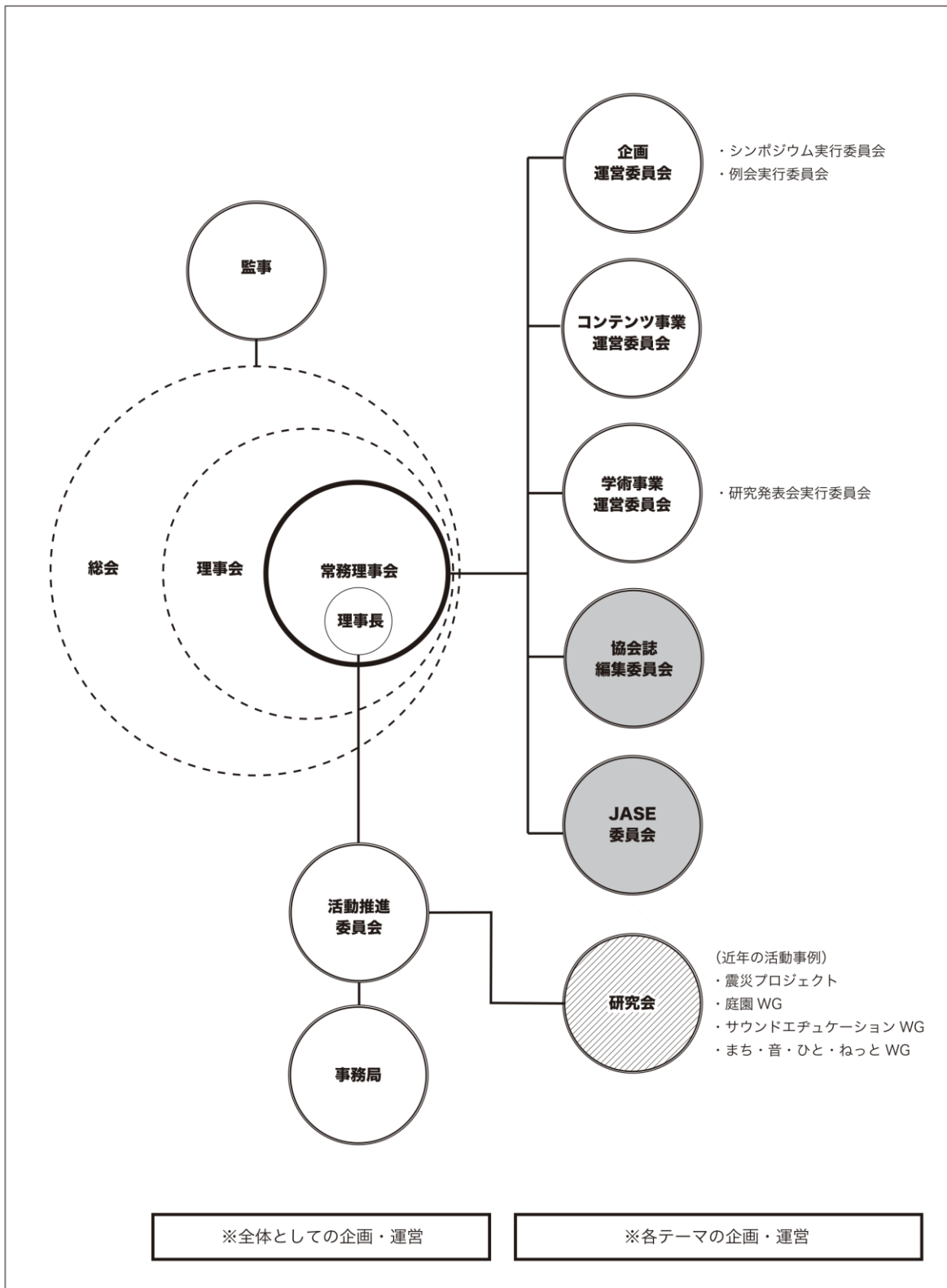


図1：日本サウンドスケープ協会組織図

[資料5] 2015年度活動方針ならびに事業計画案

2015年度活動方針

1. 新しい活動推進体制での協会運営
2. 全協会員のための研究活動の促進と環境整備
3. 協会資源（人的／物的）の発掘、管理、および有効利用
4. 協会の在り方と将来構想の検討

2015年度事業計画案

1. 総会・シンポジウムの開催

総会

- ・日時：2015年5月23日（土）13:00～14:30
- ・会場：日本大学生産工学部 39号館 601号室（スプリングホール）

シンポジウム 一劇空間の音風景 声による演出から見る古今東西の世界観一

- ・日時：2014年5月23日（土）15:00～17:40
- ・会場：日本大学生産工学部 39号館 601号室（スプリングホール）
- ・概要 講演

山形治江「ギリシャ劇におけるコロス（合唱舞踊団）の役割」

増野亜子「インドネシア・バリ島の歌芝居アルジャにおける声と身体」

梅田英春「バリ島の人形影絵芝居ワヤンにおける人形遣いダランの声」

質疑応答

司会：塩川義博

2. 例会の開催

年2回程度開催を予定

3. 研究発表会の開催

春季研究発表会

- ・日時：2015年5月24日（日）9:30～13:30
- ・会場：青山学院アスタジオ 多目的ホール
- ・共催：青山学院大学教育人間科学部 吉仲研究室
青山学院大学総合文化政策学部 鳥越研究室

秋季研究発表会

- ・日時、会場は未定

4. 研究会活動として

- ・サウンドエデュケーションWG
- ・庭園のサウンドスケープWG
- ・まち・音・ひと・ねっとWG
- ・震災プロジェクト

5. 広報活動ならびに関連事業として

- ・協会ホームページのコンテンツ充実
- ・各種メーリングリスト運営

6. 記録整備

- ・協会活動アーカイブの整備・公開の推進

7. 20周年記念事業

- ・協会HP掲載用20周年展コンテンツの制作、他

8. 協会誌の発行

- ・年度内1回発行の予定

9. 国内外の団体との連携・交流

- ・例会等を通じた実施
- ・他学会等との協働事業を検討

10. その他

- ・常務理事会は3回程度実施予定
- ・必要に応じ、(総会直前以外にも)理事会召集を検討

[資料6] 2015年度予算案

日本サウンドスケープ協会 2015年度予算案			
収入の部 (単位：円)			
科目	予算額	内訳	備考
会費収入	1,175,000		
一般会員		1,020,000	170名分
学生会員		45,000	15名分
賛助会員		-	
団体会員		30,000	5団体
JASE委員会		44,000	22名分
会費前受け金		36,000	一般会費5名分、学生会費2名分
事業収入	20,000		
コンテンツ事業		-	
例会		-	
総会・シンポジウム		-	
学術事業		20,000	協会誌バックナンバー販売等(昨年度予算と同額)
JASE委員会		-	
ワーキンググループ		-	
企画運営		-	
雑収入	300		昨年度立替精算過払い分回収
今年度収入合計	1,195,300		
前年度繰越金	1,323,826		
収入合計	2,519,126		
支出の部 (単位：円)			
科目	予算額	内訳	備考
事業費	770,000		
企画運営：シンポジウム		80,000	会場、謝礼、アルバイト謝礼等シンポジウム経費(事前の総会にかかる経費含む)
企画運営：例会		100,000	会場、謝礼、アルバイト謝礼等例会開催経費(50000円×2回想定)
コンテンツ：調査・編集		120,000	調査費・編集費・謝礼等
WG等への助成		120,000	ワーキンググループへの助成、震災プロジェクトへの助成(平均3万円×4事業)
協会誌編集		120,000	協会誌編集、取材経費(謝礼等)、デザイン謝礼等
学術：研究発表会		75,000	研究発表会経費(会場費、資料費、アルバイト代、情報交換会補助費等)
活動推進：推進・広報		120,000	協会としての活動推進と情報発信のための経費
JASE委員会活動		35,000	WFAE会費(一年分、送金手数料込)
管理費	410,000		
事務局人件費		120,000	事務局スタッフ謝礼(1000円×3h×40日)
人件費		30,000	アルバイト謝礼(文字起こし含む)
交通費		20,000	アルバイト等交通費
会議費		30,000	会場費、会議資料印刷代
通信連絡費		70,000	会員向け郵送物経費、協会誌バックナンバー送付代、理事選挙用郵送費(15362円)、等
ウェブサーバ費		80,000	ウェブ管理費(サーバ・ドメイン管理費含む・今年度計6.48万)、協会誌配信サーバ(1.0万)等
印刷費		50,000	協会誌印刷製本費、封筒印刷費、家内印刷費
雑費		10,000	事務用品購入費、振込み手数料、等
今年度支出合計	1,180,000		
補正予算・繰越予算	1,339,126	-	年度中の補正予算や次年度への繰越予算
支出合計	2,519,126		

理事選挙結果報告

5月2日青山学院大学総合研究所ビル第12会議室にて、協会細則「理事選挙実施要領」第5条にしたがい、事務局にて厳重に管理していた投票用紙の開票作業が、選挙管理委員長の山内悟、同委員の大羽田大輔、レイ・セイブン（両名共非協会員）により実施された。その結果下記候補者全員が、2015,2016年度理事として新任された。

2015-2016年度理事（29名）

池村弘之	今井信	今田匡彦	岩宮眞一郎	上野正章
大庭照代	兼古勝史	川井敬二	川崎義博	小菅由加里
小西潤子	小林田鶴子	斎藤馨	佐藤宏	塩川博義
鈴木秀樹	鈴木茉莉江	土田義郎	鳥越けい子	中川真
中間和之	西村篤	平野砂峰旅	平松幸三	船場ひさお
箕浦一哉	柳沢英輔	吉仲淳	鷺野宏	

事務局移転ならびに事務局長交代について

3月9日に開催された、2014年度第3回拡大常務理事回において、協会規約第15条第1項および第17条に基づき、事務局の移転ならびに事務局長の交代が、理事長より下記の通り提案され、承認された。

	旧	新
事務局：	青山学院大学総合文化政策学部 鳥越研究室	青山学院大学教育人間科学部 吉仲研究室
事務局長	佐藤宏	吉仲淳

*事務局は2015年4月初旬に移転完了し、稼働しています。